

大森市長の大盛コラム

～“わくわくする”桃太郎のまち岡山の実現に向けて～



第20回 岡山市の新たなシンボル 新庁舎完成！

～もっと便利に、もっと身近な庁舎に生まれ変わります～

岡山市の新庁舎が5月29日(金)に完成しました。現庁舎からの移転作業などを行った後、11月24日(火)の全面開庁を予定しています。

現庁舎は昭和43年に建てられ、当時中学生だった私は、完成した庁舎を見学し、立派な建物だと感心した思い出があります。その庁舎も老朽化が目立つようになり、耐震診断の結果、大地震が起きると倒壊する危険性があることが分かりました。建て替えと改修の両面から検討を進め、長期的にはコスト面で有利であり、行政サービス向上が図られる点からも、建て替えが合理的だと判断しました。財源に関しては、新庁舎のために積み立ててきた基金や、有利な財源を使って財政負担の軽減を図っています。

新庁舎は、岡山城をモチーフとした外観を採用し、また市民の安全・安心を守る防災拠点として、南海トラフ巨大地震にも耐えられる耐震性を有しています。住民票などの窓口では、ICTの活用や予約制の導入、窓口の共通化などにより、待ち時間を削減し、利便性の向上が期待されます。さらに、新たにキッズスペースを設けたり、議場ではお子さま連れでも気兼ねなく議会を傍聴できるよう個室の

「親子傍聴室」を設けたりするなど、誰もが利用しやすい庁舎となります。

庁舎内には、市民ホールやまちを一望できる展望テラスを設け、また、現庁舎解体後に、市民が憩い、さまざまなイベントが楽しめる公園・広場を整備する予定です。

新庁舎が、まちのシンボルとして、市民の皆さんの憩いの場として、未永く愛されるものになればと願っています。ぜひ気軽に訪れていただきたいと思います。



※周辺施設整備後の外観イメージ



市民のひろばおかやま 2026年7月号